

令和 4 年 10 月 26 日
北海道電力株式会社

第 1076 回（令和 4 年 9 月 29 日）原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合における
泊発電所 3 号炉に係る審議結果（スケジュール関連）とその対応

令和 4 年 9 月 29 日審査会合における審議結果	対 応
<p>【入力津波の設定等】</p> <p>① 敷地周辺の遡上・浸水域の評価に当たっては、基準津波及び耐津波設計方針に係る審査ガイドを踏まえ、例えば、斜面を含む地形、河川、水路、人工構造物等の敷地及び敷地周辺の特徴を考慮して敷地への遡上の可能性を検討すること。</p> <p>② 敷地及び敷地周辺の特徴を踏まえ、入力津波に影響を与える可能性のある要因を網羅すること。例えば、敷地周辺の陸上地すべりに伴う地形変化及び防潮堤の前面護岸の地震による地形変化などを入力津波の評価に影響を与える可能性のある要因として抽出すること。また、これらの要因が入力津波の評価に与える影響を検討した上で、入力津波の評価の妥当性を説明すること。</p> <p>③ ①②に関する説明時期について、次回会合において示すこと。</p>	<p>審議結果③への対応を検討した結果、①②に関する説明時期は、資料 1-3-2 の作業スケジュールにおける通し No.21 のうち、「耐津波設計に係る解析工程」および「耐津波設計方針」に次のとおり設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 2022 年 12 月 5 日の週 : 左記審議結果①②に関する評価方針を説明する。 ➤ 2023 年 5 月 8 日の週 : 評価方針を踏まえた解析結果を説明し、入力津波の見通しを説明する。 ➤ 2023 年 9 月 25 日の週 : 入力津波の評価結果を説明する。

以上